

点検結果表（規制の事前評価）

政策の名称	技能実習制度における技能実習生の保護等の規定の創設	府省名	法務省
根拠となる法令	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 政令 <input type="checkbox"/> 府省令 <input type="checkbox"/> 告示 <input type="checkbox"/> その他		
	外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律		
規制の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新設等 <input type="checkbox"/> 緩和 <input type="checkbox"/> 廃止		

点検項目		評価の実施状況					課題
①	規制の目的、内容及び必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 説明あり <input type="checkbox"/> 説明なし					
費用の分析	② 遵守費用	<input type="checkbox"/> 金銭価値化	<input type="checkbox"/> 定量化	<input checked="" type="checkbox"/> 定性的記述	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 分析なし	※
	③ 行政費用	<input type="checkbox"/> 金銭価値化	<input type="checkbox"/> 定量化	<input checked="" type="checkbox"/> 定性的記述	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 分析なし	
	④ その他の社会的費用	<input type="checkbox"/> 金銭価値化	<input type="checkbox"/> 定量化	<input type="checkbox"/> 定性的記述	<input checked="" type="checkbox"/> 負担なし	<input type="checkbox"/> 分析なし	
⑤	便益の分析	<input type="checkbox"/> 金銭価値化	<input type="checkbox"/> 定量化	<input checked="" type="checkbox"/> 定性的記述	<input type="checkbox"/> 分析なし		
⑥	費用と便益の関係の分析	<input type="checkbox"/> 費用便益分析	<input type="checkbox"/> 費用効果分析	<input type="checkbox"/> 費用分析	<input type="checkbox"/> 定性的な分析	<input checked="" type="checkbox"/> 分析なし	※
代替案	⑦ 代替案の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 想定される代替案なし			<input type="checkbox"/> 設定なし		
	⑧ 代替案との比較	<input checked="" type="checkbox"/> 費用・便益で比較	<input type="checkbox"/> 費用で比較	<input type="checkbox"/> 便益で比較	<input type="checkbox"/> 比較なし	※	
⑨	レビューを行う時期又は条件	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし					

【課題の説明】

- 「○」：評価書の分析・説明に課題（疑問点・問題点等）があるもの。
 「※」：点検過程における各府省からの補足説明（＜点検結果表の別紙＞参照）により課題が解消したもの。
 「◎」：点検過程における各府省からの補足説明（＜点検結果表の別紙＞参照）により課題の一部が解消したもの（なお、「評価の実施状況」欄には評価書を踏まえた区分を、次の【課題の説明】欄には、評価書及び補足説明を踏まえた課題内容を記載していることから、両者の内容が一致しない場合がある。）。

【点検結果表の別紙】

《遵守費用に係る補足説明》

遵守費用について、実習実施者や監理団体等が禁止行為に係る規定を遵守するためのマニュアル作成や研修の実施等の体制の整備に係る費用並びに技能実習生の転籍のあっせん及び要請等の連絡調整に要する費用が発生することが想定される。

《費用と便益の関係の分析に係る補足説明》

規制を導入することにより、実習実施者及び監理団体において規制を遵守するために必要となる費用及び規制の導入に当たっての行政費用が発生するものの、技能実習生に係る禁止行為規定を遵守させることで、現行の国内法令による保護のみにとどまらないより一層の保護を図ることができる。また、技能実習生による申告に基づき指導・助言や技能実習の継続支援を行うことで、技能実習生の保護を図る体制を確保することができるようになり、開発途上地域等への技能、技術又は知識の移転による国際協力の推進につながることから、規制の導入による便益は費用を上回るものと考えられる。

《代替案との比較に係る補足説明》

代替案の遵守費用について、実習実施者や監理団体等が禁止行為に係る規定を遵守するためのマニュアル作成や研修の実施等の体制の整備に係る費用並びに技能実習生の転籍のあっせん及び要請等の連絡調整に要する費用が発生することが想定される。

代替案を導入することにより、改正案とほぼ同項目の費用及び便益の発生が見込まれるが、便益面においては、技能実習生による申告に基づき指導・助言や技能実習の継続支援を行うことで、一定程度、技能実習生の保護を図る体制を確保することができるが、技能実習生に係る禁止行為規定の違反について、罰則により実効性を担保できないことから、十分な技能実習生の保護が図れず、ベースラインと比較して、技能実習を通じた技能等の確実な修得という便益が十分に発生しない可能性があり、代替案を導入することにより得られる便益は必ずしも費用を上回るとはいえないと考えられる。